

有害化学物質削減ネットワーク・第14回総会記念シンポジウム

Tウォッチ公開講座2018年度第1回

化学物質による健康影響を考える

～化学物質管理における2020年目標の達成と新たな課題～

講演「発達障害急増の原因としての農薬など有害化学物質」

木村-黒田 純子氏（環境脳神経科学情報センター、医学博士）

報告「香害110番の活動について」

田中 輝子氏（日本消費者連盟）

意見交換

コーディネーター 中地重晴氏（熊本学園大学教授・Tウォッチ理事長）

日時 2018年5月27日（日）午後1時半～4時半

場所 明治大学駿河台・リバティータワー1073教室

東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学リバティータワー7階

資料代 1,000円（会員500円）

主催：特定非営利活動法人有害化学物質削減ネットワーク（Tウォッチ）

申込み及び連絡先：〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4F

TEL03-5627-7520 FAX03-5627-7540 e-mail: info@toxwatch.net

*参加希望者はできるだけ、e-mail またはFAXでお申し込みください。

本シンポジウムは平成30年度地球環境基金の助成を受けています。

開催趣旨

有害化学物質削減ネットワーク（Tウォッチ）は 2001 年に開始されたP R T R制度（環境汚染物質排出移動登録制度）を市民が有効活用できるように、P R T R情報の検索データベースを提供する活動を行ってきました。P R T R制度は事業者の中に定着し、環境中に排出される化学物質の量は約3分の一減少しましたが、人の健康への影響がなくなったとは言えません。

2002年に国際的に合意した「化学物質による人の健康と環境への悪影響を最小化するために生産、使用することをめざす」という2020年目標を達成できたとはいえません。2014年、2015年に実施したTウォッチのアンケート調査でも化学物質過敏症の被害者の増加は明らかです。

最近では、柔軟剤による香害が社会問題化しつつあります。この新たな課題をどのように解決していくのか。化学物質による健康への影響をもう一度考えていきたいと思えます。そのために、木村-黒田純子氏（元東京都医学総合研究所 研究員）に、農薬などの有害化学物質による脳への影響について、報告していただくとともに、香害110番で集められた被害の現状を聞き、新たな課題にどのように対処していくのか、参加者で意見交換していきたいと思えます。Tウォッチの会員だけでなく、多くの市民の方の参加をお待ちしています。

会場案内図



JR中央・総武線 御茶ノ水駅下車 徒歩3分/東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅下車 徒歩5分
東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅下車 (B3出口) 徒歩3分/都営地下鉄新宿線 小川隠役下車 (B5出口) 徒歩5分